

水トラストニュース

2025.6 No.52



もくじ

山でいっぷく差し上げました	1
廃鶏を食べつくす	3
今年もマダニに	5
2025年度定期総会案内	7



山でいっぶく差し上げました

小西 和子

11月9日 今年是小栗さんが栗きんとんを作ってくださいということで、皆様^{いっぶく}に一服さしあげるべく、茶碗やら短冊をもって参上。つるした短冊の前に山で調達した枝と花を持参の花入れに投入し、それらしく設定できたかな？

短冊の禅語は「行雲流水」^{こううんりゅうすい} 西垣大道和尚の筆、修行僧の画は山口木水、解説によりますと「雲や水が何にも妨げられることなく気ままにどこへでも流れて行くさまから、微塵の執着もなく自由自在融通無碍に振るまう禅者の姿を表現するのにこの語は用いられる。これを略した形の「雲水」が禅の授業僧の呼称となっている。いかなる時にも自らのあり方にこだわることなく時には雲のように万物に柔らかい日陰を与え、時には水のように万物に潤いを与えるという姿勢を保ってこそ真の「行雲流水」と言えるのである。」そうです。

さて今回使用したお茶碗は、後から考えると自分で購入したものは一つも無く何らかの縁があって私の元へ来たお茶碗でした。皆様お茶碗にも興味をもっていたいただいたので少し語らせてください。御嵩町の南に位置する可児市の久々利は志野や織部の古窯が有り現役の陶芸作家が多い所です。今回の志野は瀬戸の人加藤令吉 造 瀬戸窯です。織部茶碗、天目茶碗(美濃焼)はお茶の先生からの借り物、作者は分かりませんが多治見辺りのものらしい。信楽茶碗は土山窯杉本睦子 造、刷毛目三島茶碗は駕洛窯(韓国)清水日呂志 造(三重県菰野にも築窯)。

この茶碗の元の持ち主は御嵩の産廃問題のごくごく初期に名古屋から小和沢へ来てくれた女性の一人でした。後にお茶道具はもう使わないからと私の元へ。作者の詳しいことは分かりませんが朝鮮半島で焼かれたことに何かロマンを感じています。最後に奈良絵虎茶碗、宮地英香 造(美濃)。えーこの奈良絵の説明で私は「過去現在因果経絵」から題材をとった思い込んでいたのですが、今回お茶の先生がそれは知らないということで、どうも勘違いしていたようです。奈良絵茶碗は本来奈良の赤い土を使い、形を作り、ワラを焼いて作った釉薬を掛けて「奈良絵」という奈良の風景や鹿などを遊び心一杯に描いているのだそう。赤膚焼とも。これは初釜の時クジ引きで当たったもの。嬉しかったですね。

そして使ったお水は大沼さん、小栗さんが用意して下さった木曽川の水（ですよね?）。一部私も飛騨川の水を少々持参しました。

お茶は、尾西市陽光園の「龍^{りゅうげ}華の昔」、お菓子は前述のように小栗さんの栗きんとん、すのこでさお菓子にしたもの。とっても美味しゅうございました。そして薪でお湯を沸かして下さった村越しおりさん、軽々と茶筌をふるってお茶をたてて下さった大沼しょうこさん、座るムシロを持って来て下さった奥村さん、机をセットして下さった方々、ありがとうございました。正座したつもりでいち礼!!

御嵩町 名鉄広見線 新可児-御嵩区間 存続目指し協議へ

名鉄広見線の新可児と御嵩の区間は赤字が続いており、御嵩町が年間 7000 万円、可児市が 3000 万円を負担して運行している。今後は設備の改修などに多額の費用がかかると見込まれることから、名鉄は現状の形で継続するのは難しいとしている。御嵩町の渡辺町長は、5 月 13 日に開かれた住民懇談会で、鉄道の存続を目指し、可児市や名鉄などとの協議に臨む方針を明らかにした。運行は名鉄が続け、施設の維持費などを自治体が負担する「みなし上下分離方式」が検討されている。その場合、国の財政支援を受けても、自治体側の負担が最大で年間約 1 億 8000 万円に増えると試算されている。

〔みなし上下分離方式：鉄道事業者が線路などインフラ(下部)の所有権を持ち続けながら、その維持・管理は自治体や第三セクターが行い、鉄道事業者は運行(上部)のみを担う方式。〕



廃鶏を食べつくす

早川 しょうこ

4月12日は「春を食べる」でした。山菜の天ぷらや厚揚げを炭火であぶってお味噌を付けて、それに手作りパンなど、春のうららの、木々の芽吹き、山桜の薄いピンクを眺めながら、目と舌で味わい、美味しくいただきました。

お目当ての廃鶏ですが、今回は3羽持ってきてくれました。でも、羽をむしり取るための一斗缶いっぱいのお湯(60℃が適温だそうです)がなかなか沸かないので、最後になってしまいました。

実は私は臆病者(英語ではチキンというそうです)で、特に弱いのは殺戮の場面。昔ですが芦浜原発建設反対運動していた時、地元の漁師さんが美味しいからと生きたまま大きな伊勢海老をプレゼントしてくれました。伊勢海老が食べられると大喜びで家に帰り、さしみにしようとしたのですが、どうしても出刃包丁で殺せない。それではと湯を沸かしてそれに突っ込めばよいと。でも、熱湯に入れようとする「ギーギー・・・」世も末とばかり悲しげに鳴くのです。だから、どうしても放り込めない。あーどうしよう、そもそも海を護ろうとしている者に「ギーギー・・・」って鳴くか！バツカタレ！でも、あーどうしよう。あっそうだ「ギーギー・・・」さえ聞かなければ殺せるから鍋に入れてしっかり蓋を閉めて火にかけて台所から離れていればオッケーと。で、そうしました。伊勢海老は絶品、あますところなくとことん賞味しました。

廃鶏も同じで、どうしても殺戮の場面はちょっと遠慮しましたが、鶏ガラは圧力鍋で煮出したら絶品スープができ、太麺を買ってきてラーメンを作りました。畑のゴボウを使ってスープにした鶏ガラに、くっついていた肉を入れてきんぴらにして、生産者さんの中島さんにお



暴れてます。



首を切り落とすところ。

礼に(大量にできちゃったから)差し上げました。手羽先とモモ肉は塩こうじに漬けて柔らかくして、わらびの炊き込みご飯、チキンライス。とにかくちょびちょび大切に大切に使っています、これもすべて美味しいからできること。

他の生き物を殺して食べて、生きているのだから、命を奪う痛みを自覚すべきであることは重々承知です。でも、目撃できない、それを承知の上で、いただいた命を余すところなく賞味しつくせば、まあちょっと許されるのではと思っています。因みにちょん切った頭や足、取り出した内臓、むしり取った羽など、すべてコンポストに入れて、落ち葉を追加して混ぜ込んで肥料に。この肥料は里芋畑に入れるとりっぱな里芋が大量にできること請け合います、これがまた美味しい！



解体中。

今年もマダニに

5月の活動で今年もさっそくマダニに咬まれました。私が初めてマダニに咬まれたのは6年前で、それからほぼ毎年一回マダニにやられています。今までは下半身、腿の付け根近辺で咬まれていたのですが、今回は初めて上半身、わきの下の背中側でした。活動の翌日、そのあたりがどうもかゆいなどと鏡に映してみたら、マダニを見つけました。

マダニは頭の部分を皮膚にめり込ませて血を吸います。それを下手に取ると、胴体だけがちぎれて取れ、頭部分が皮膚の下に残ってしまい、残ったマダニの体液のために炎症が起きる恐れがあります。そうならないようにするには、皮膚科に行って取ってもらうのが確実です。なのですが、私は最初の時は皮膚科に行ったのですが、二回目からは自分で取っていました。(医者に行くのが面倒くさくて・・・世の中、自分で取っている人もけっこういます)でもまあ、これはあまりおススメはできない、でしょうね。いちおう、ちゃんととれるように少し工夫はします。もし興味のある方はご連絡ください、お教えします。(それをここに書いてしまうと、自分で取るのをすすめているような感じになってしまうので、ひかえることにします)

ですが、今回は背中の方、鏡に映さないとよく見えないところなので、とても自分で取ることはできません。それで、あきらめて、6年ぶりに皮膚科に行くことにしました。前回は、特殊な器具(たぶん)で、マダニを引き抜いてくれたのですが、今回はマダニの周り、直径2ミリぐらいの範囲を皮膚ごと切り取る、とのこと。残るといけないから、だそうです。そして、そのために、局所麻酔をする、と言われました。2ミリ切るのに麻酔は不要だろうと思ひ、そう言ったのですが、切るから麻酔した方がいい、と言われ、さっさと麻酔の注射を打たれてしまいました。切った後には、縫った方がいいかな、とつぶやいていたので、要りません縫わなくていいです、とあわてて言って、それはやめてもらいました。(2ミリの傷をふつう縫うか?)

その後さらに、SFTSの危険もあるから抗生物質を出そうか、と言い出しました。

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)はマダニが媒介するやっかいな病気で、患者の発生がニ



ユースになることもあります。もしマダニが病原体を持っていたら、皮膚科でマダニを取ってもらったとしても、まる一日体にくいついていた時点ですでに病原体は体に入っているでしょうから、感染を防ぐことができません。ただ、SFTSの病原体はウイルスなので抗生物質は効きません。マダニが媒介する病気は他にもあり、こわい病気で感染者はある程度出ているのですが、それらには治療薬が存在します。というわけで、抗生物質を服用する必要はあまりないだろうと思われましたので、要りません、ときっぱり断りました。この程度の小さなリスクにまで使ってしまうと、社会全体では多量の抗生物質を使うことになり、好ましいことではないと思われます。(年齢や体調によっては、使った方がいい場合もあると思います)

治療が終わって帰るとき、窓口で傷薬の軟膏のチューブを渡されました(けっこう大きい)。2ミリの傷にチューブ一個もらってもほとんど使わないな、と思ったのですが、もう用意されていたので受け取ってしまいました。(結局、封も切らずじまい)

久しぶりに皮膚科に行って、全般ちょっと手当てが過剰なのではないかと思いました。心配しすぎはよくない、ということを私たちはコロナの時に学んだはずではないかと思えます。心配はまったくしないよりはする方がいいのでしょうけど、しすぎないで、そこそこ適度なぐらいにとどめておきたいものです。

・ ・ ・ と言ったところで、水トラストの活動では保険をかけていますので、皮膚科を受診したときも保険金がおります。マダニに咬まれたら皮膚科を受診しましょう。そして、受診したときはお知らせください、保険の手続きは簡単です。

市村正也



2月9日、雪が積もっていました。

2025 年度定期総会のご案内

時：6月29日（日）15：00～

場所：名古屋市千種区今池3-12-3 丸美タウンマンション今池205号

（地下鉄今池下車：徒歩5分、JR千種下車：徒歩10分）

詳しくは下記連絡先にお問い合わせください。

議題：2024 年度事業報告および決算報告

2025 年度事業計画および予算

その他の報告

気軽に、楽しく 山仕事に参加しませんか

とき：毎月第2土曜日およびそれに続く日曜日

集合場所：御嵩町・中公民館（名鉄広見線・御嵩口下車、すぐ）

集合時間：午前10時

参加の方法：電子メールで申し込んで下さい。

申し込み・問い合わせ先：

e-mail: mitake500npa@yahoo.co.jp



村越さん作シシオドシ

表紙の絵は早川しょう子さん作

発行

特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曽川水トラスト

〒464-0850 名古屋市千種区今池3-12-3

丸美タウンマンション今池205（←2020年11月より）

郵便振替00840-5-137369（←2018年5月より）

URL <http://mitake500npa.na.coocan.jp/>

e-mail mitake500npa@yahoo.co.jp